

Emmet の設定

作成日: 2015/09/25

作成者: 西村

更新履歴

更新日	更新概要	作業者
2014/09/25	・ 新規作成 (仮)	西村
2015/11/27	・ 例(簡単なもの)を追加	西村
	・	
	・	
	・	

Emmet ?

「Emmet」は、主に HTML タグを手で書く手間を減らすための便利なツールです
(昔は「Zen Coding」と呼ばれていました)。

基本的には CSS のセレクタ(#xxx や span.test など)をベースにした特定のパターンの文字を入力してタブキーを押すと
タグに変換してくれるものになっています。

タグ名を入力してタブを押すだけでもタグを整えてくれる(div と入れてタブを押すと<div></div>にしてくれる)のでそれだ
けでも便利だと思います。

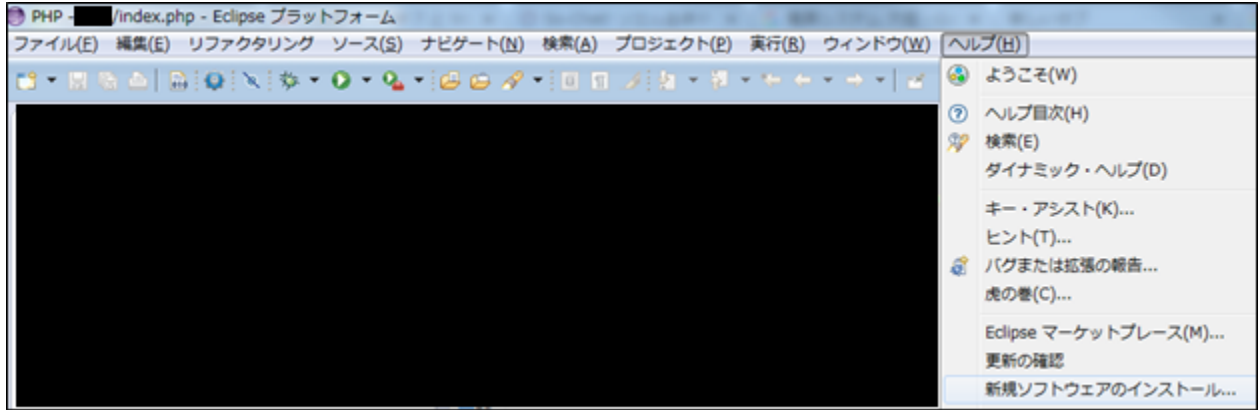
変換の例

#	変換前	変換後
1	a	<code></code>
2	div	<code><div></div></code>
3	#xxx	<code><div id="xxx"></div></code>
4	span.test	<code></code>
5	a[href="http://google.com/"]{Google リンク}	<code>Googleリンク</code> ※ 「[名前=値]」とすると属性が付きます。 ※ 「{テキスト}」とするとテキストが入ります。
6	ul>li	<code> </code> ※ 「親タグ>子供タグ」とすると親タグと子供タグが配置されます。
7	ul>li*4	<code> </code> ※ 「タグ*数字」とするとタグが複数個配置されます。
8	ul>(li>img[src="\$\$.png"])*4	<code> </code> ※ 「()」で「タグ*数字」のどこを繰り返すか指定できます。 ※ 「タグ*数字」内で「\$」をつけると 1 から連番になります。 (\$\$で 2 桁連番、\$\$\$で 3 桁連番、…)

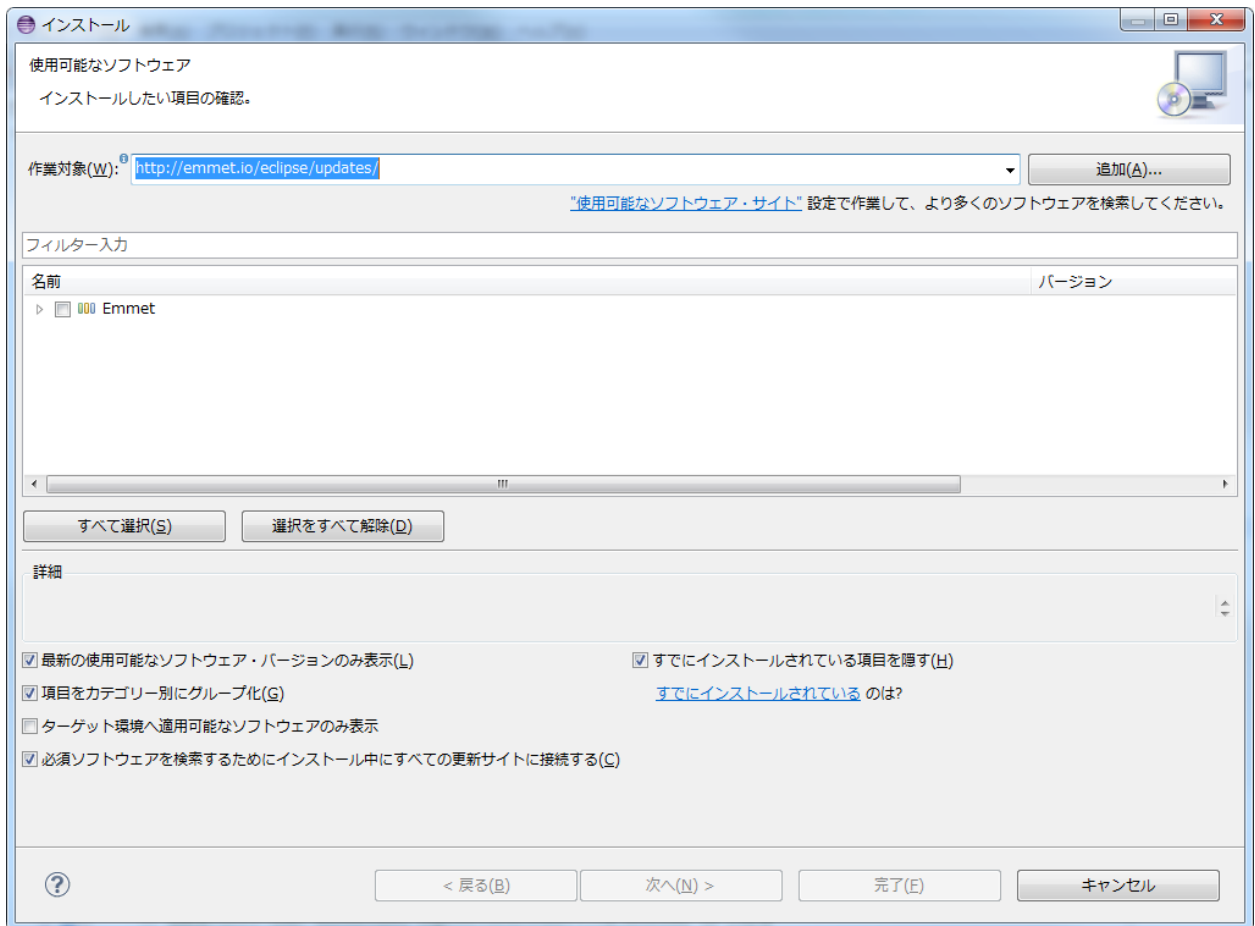
Emmet のインストール (Eclipse)

Emmet は様々なエディタで使えるツールですが、ここでは Eclipse へのインストール手順を記載します。

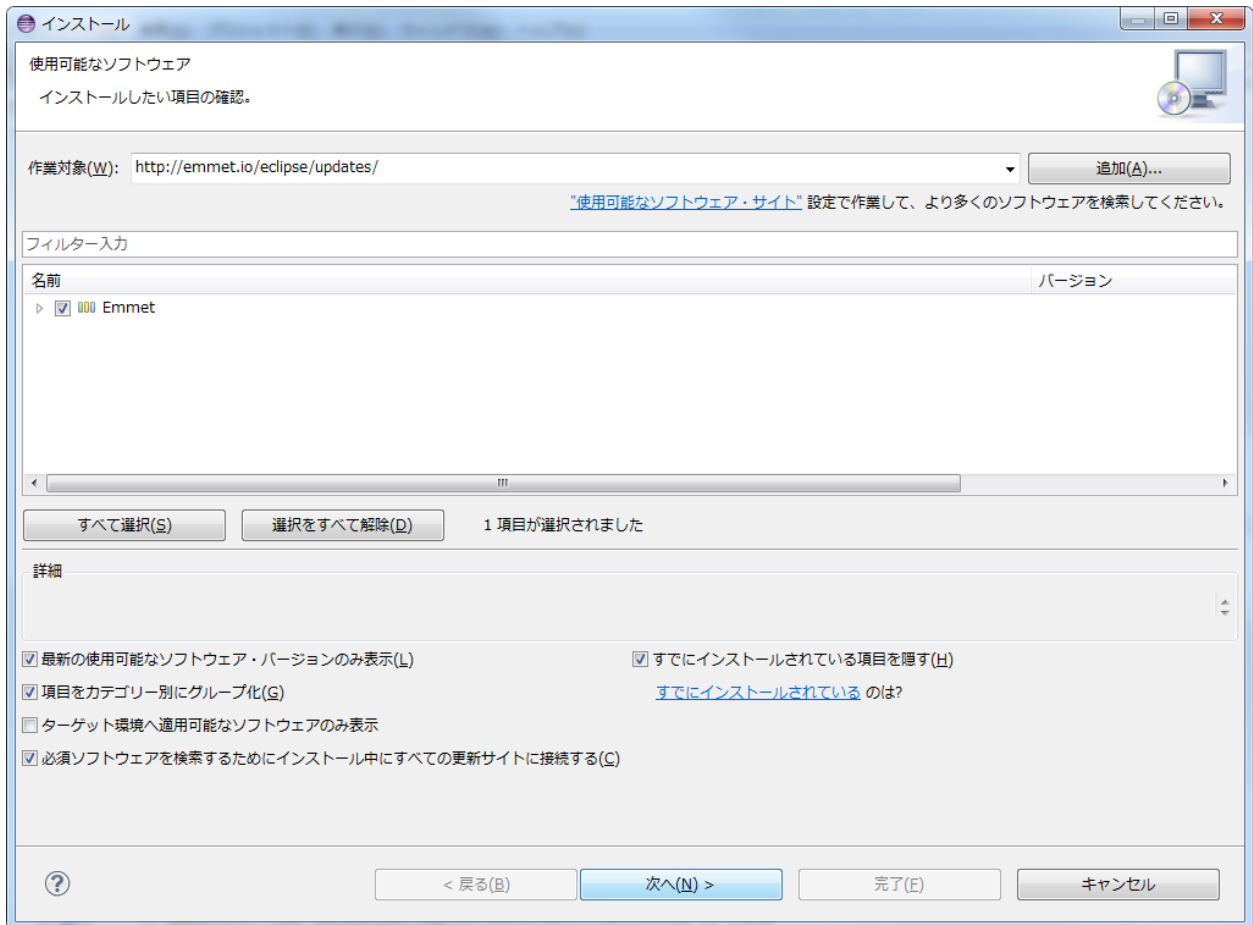
1. Eclipse のメニューにある「ヘルプ」>「新規ソフトウェアのインストール」を選択します。



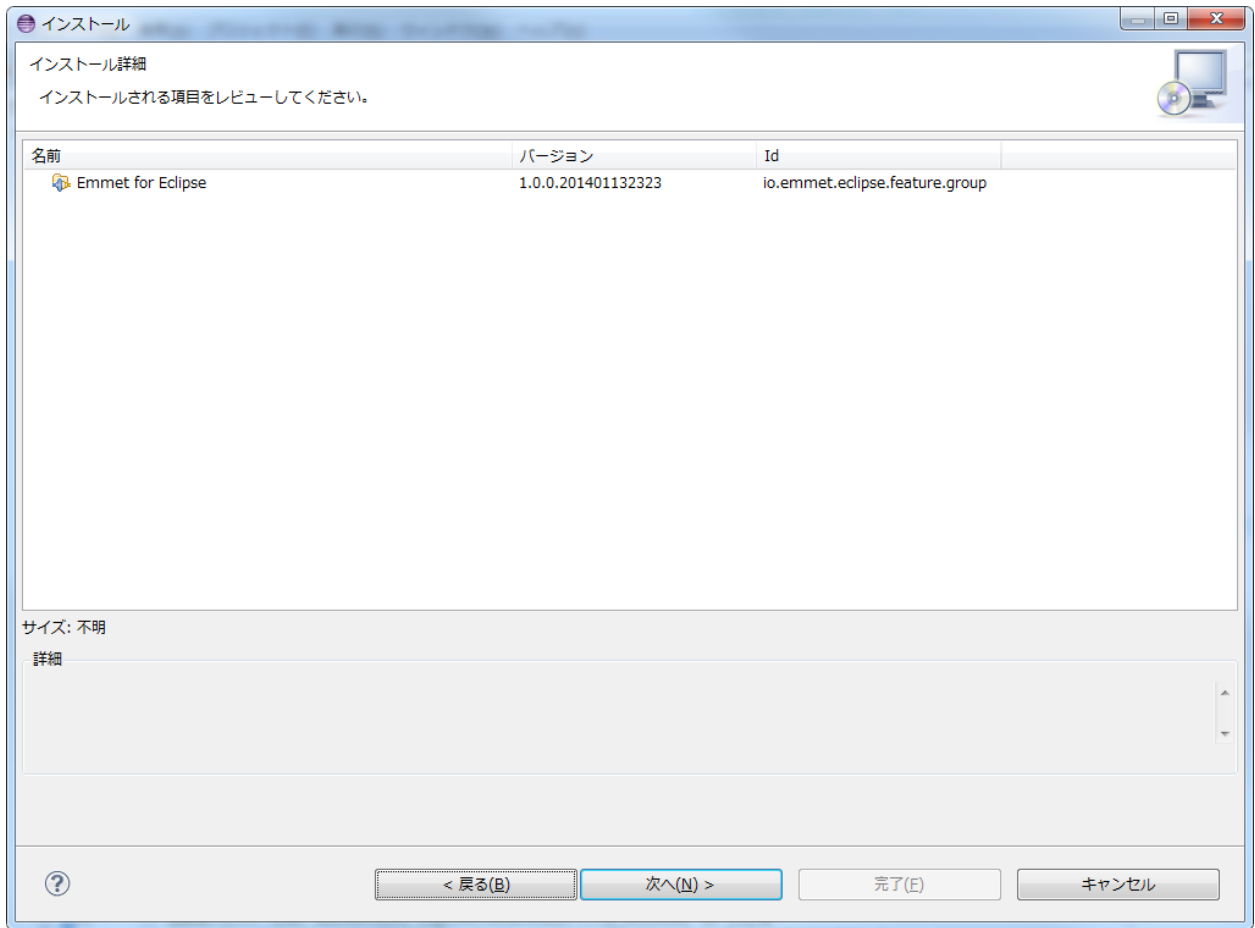
2. 「作業対象」に「<http://emmet.io/eclipse/updates/>」と入力します。
(中央部分に「Emmet」と出てくれば正しく入力できています)



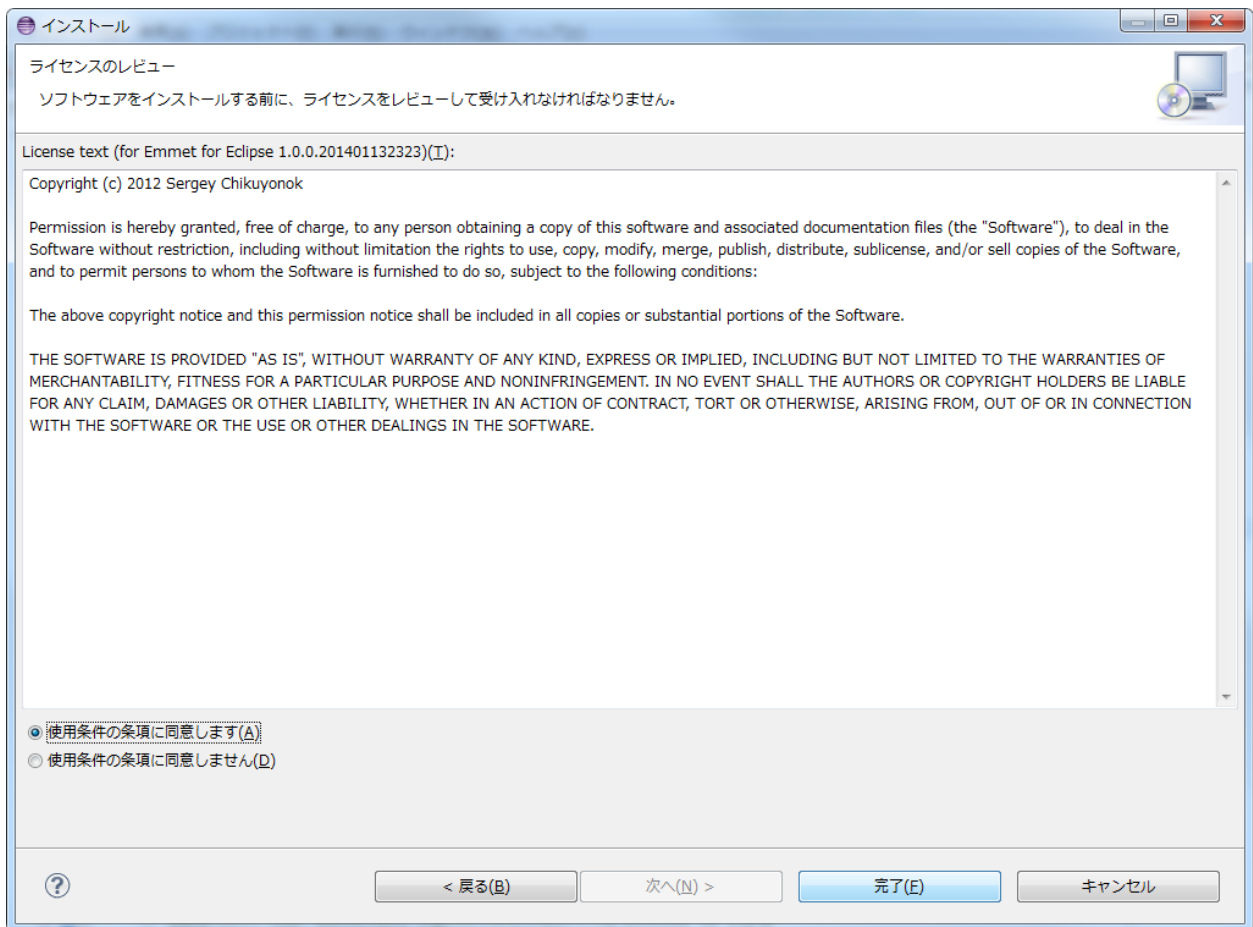
3. Emmet の項目にチェックを入れて「次へ」をクリックします。



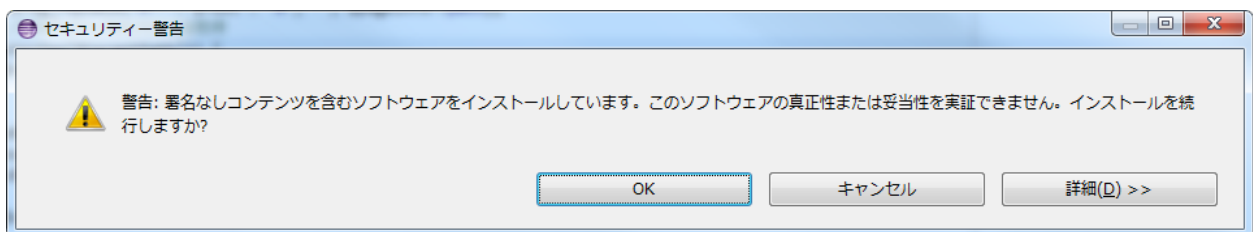
4. インストールする内容を確認して「次へ」をクリックします。



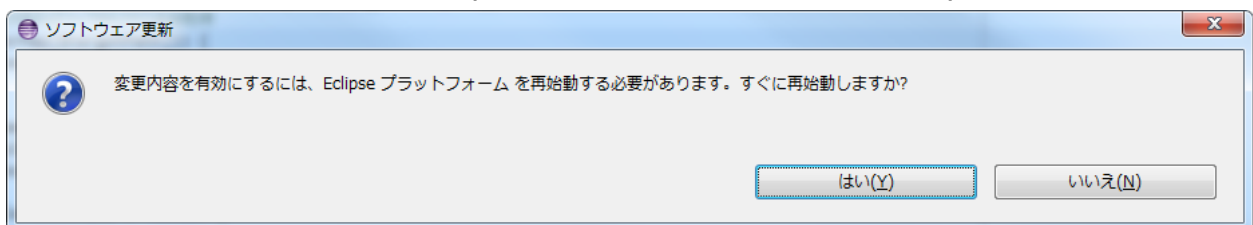
5. 「使用条件の条項に同意します」をクリックして「次へ」をクリックします。



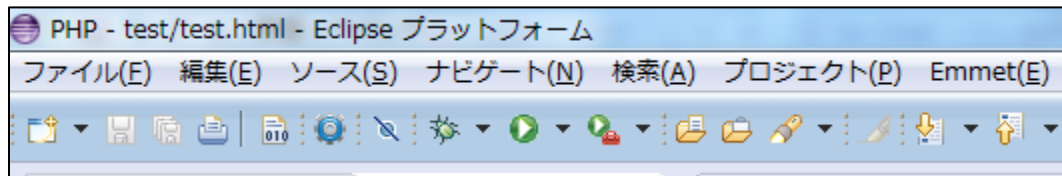
6. セキュリティ警告のダイアログが出る場合は「OK」をクリックします。



7. 再起動のダイアログで「はい」をクリックします。(再起動するまでインストールが反映されません)



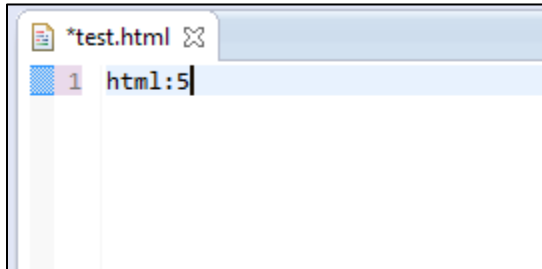
8. メニューに「Emmet」が追加されていることを確認して下さい。



ここまでできていればインストールできています。

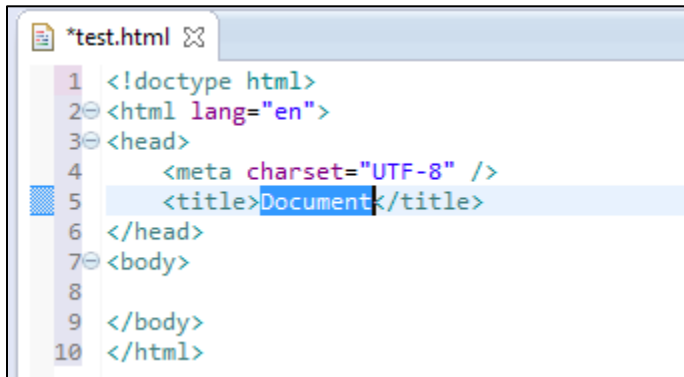
Emmet の動作確認 (Eclipse)

1. メニューの「ファイル」>「新規」>「HTML ファイル」から HTML ファイルを新規作成します。
※ 他の方法で新規作成してもよいですし、既存の HTML ファイルでもよいです。
2. HTML ファイル内に「変換の例」にあるような文字などを打ち込んだあとタブキーを押して下さい。変換が行われます。
(タブキー押下前)



```
*test.html ✕
1 html:5
```

(タブキー押下後)



```
*test.html ✕
1 <!doctype html>
2 <html lang="en">
3 <head>
4   <meta charset="UTF-8" />
5   <title>Document</title>
6 </head>
7 <body>
8
9 </body>
10 </html>
```